

石破で政権奪還！

- ◇外交・安全保障を立て直す！
～あらゆる体制を整備し、真の独立主権国家へ
- ◇経済を立て直す！
～戦後最大の経済危機を克服し、たしかな成長軌道へ
- ◇社会保障を立て直す！
～社会保障の総点検で、温かくて公平な社会へ
- ◇政治・行政を立て直す！
～「決められる政治」「国民に奉仕する機能的な政府」へ
- ◇地域を立て直す！
～経済再生と雇用回復で、個性と活力ある地域へ
- ◇自民党を立て直す！
～国民から信頼され、共感される自民党へ

行政改革

- * 国の省庁の再編と、国・都道府県・市町村の重複行政の解消を進めます。
- * 過去の規制緩和の効果を検証し、その結果を踏まえ、真に国民のためになる規制の見直しを進めます。
- * 公務員給与の議論の中で必要なのは、「その給与に見合った仕事をしているか否か」という視点です。一律平等ではなく、真に国民のために働く者が評価される人事システムの確立を目指します。

政治改革～決められない政治からの脱却

- * 党綱領がなく、政党としての体をなしていない今の与党が「決められない政治」に陥った過ちを、決して繰り返してはなりません。
- * 選挙制度の如何にかかわらず、少なくとも「理念に基づいた政界再編」と「政党基本法の制定」の2つは政治改革に不可欠です。
- * 政界再編については、次期衆院総選挙後に、自民党を中核として、自民党の国家観、新しい綱領や政策の基本的考え方を共有できる議員を自民党に迎え入れる形の実現を目指します。
- * 政党は、納税者である国民に対して義務を果たさなければなりません。綱領制定のほか、党首の選び方、意思決定のシステムの規定、経理の公開の義務づけなどを内容とする政党基本法を制定します。
- * 国会の与野党攻防から発生する「決められない政治」とも決別します。
- * 総理の国会による拘束の緩和、副大臣制度の活用などにより、閣僚の国会対応の過度の負担を軽減し、国益のために働かせるとともに、国会を本来の政治家同士の議論の場とします。
- * 予算と予算関連法案の関係を整理し、予算と財源を「ワンセット」で扱うルールを確立します。
- * 国民の感覚とかけ離れた政治、劇場型政治、未熟な政治から脱却します。

むすびに

私は、できる限り多く、自分の言葉で正直に国民に語りかけたいと思います。このため、街頭演説や記者会見、メディア出演などを最大限活用します。

国民を信じない政治家が国民から信用されることなどありえません。私は勇気と真心をもって真実を語り続けることで、国民から信頼される政治を、全身全霊を尽くして実現させます。

石破茂

ごあいさつ

三年前の政権交代は、民主党に対する支持ではなく、自民党に対する拒絶感その本質だった。これが私の自らに対する反省に基づく基本認識です。

民主党政権の無残な失敗は、国家そのものを揺るがしかねない事態を招きました。しかし自民党は「国民を騙した民主党と、それを選んだ国民の責任だ」などと言ってはなりません。なぜ国民がそのような選択をするに至ったのか、私たちは決してそれから目を逸らしてはなりません。

私たち自民党は、いつしか国民に対する怖れと感謝の念を失っていたのではないのでしょうか。

憲法改正、財政再建、安全保障政策や農業政策の抜本的な見直し…我々は、語るべきことを正面から語らず、先送りにはこなかったでしょうか。どこで誰が何に悲しみ、何に苦しんでいるかを本当に知り、手を取り合ってともに涙する心を、失ってはいなかったでしょうか。

国民は、政治も政治家も信じてはいません。しかし、政治は、政治家は、国民を信じていたでしょうか。国民を信じていない政治が、国民から信頼されるはずはありません。

野にある今こそ、自民党は国民の共感を取り戻すために、大きく変わらなくてはなりません。今は天が自民党に与えて下さった最後の機会なのであり、自民党が新しく生まれ変わることで、日本再生の唯一の道である、と私は信じます。

今さえよければいいのではない。日本さえよければいいのではない。政治の使命は、勇気と真心をもって真実を語ることにこそあります。

真実を見極める真摯さと、辛いことでもあえてそれを語る勇気と、国民に共感していただける真心をもった自民党。

謙虚で、誠実で、丁寧で、温かくて、実行力のある自民党。

国会議員や特定の人々のためではなく、地方や一人一人の国民を大切に自民党。

私は皆様と一緒に、そのような自民党を作りたいのです。

石破茂

自民党が生まれ変わることで、日本再生への唯一の道。勇気と真心をもって真実を語る、謙虚で、誠実で、温かくて実行力のある自民党。そんな自民党を、私はつくりたい。

